第１２回昭島市総合基本計画審議会
議事要旨

＜ 日 時 ＞　令和３年４月９日（金）19:00～20:05

＜ 場 所 ＞　昭島市役所　市民ホール

＜出 席 者＞（敬称略）

【委員】

田中　啓之（会長／相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科）、前田　耕司（副会長／早稲田大学大学院 教育学研究科）、白川　宗昭（昭島市教育委員会）、谷部　英治（昭島市農業委員会）、中島　岩雄（昭島市自治会連合会）、浅見　勇（昭島観光まちづくり協会）、安倍　弘行（昭島市社会福祉協議会）、水野　宏一（昭島市商工会）、山下　俊之（昭島市行財政改革推進会議）、赤田　輝子（公募市民）

【事務局】

永澤貞雄（企画部長）　萩原秀敏（政策担当部長）　村山純（企画政策課長）　滝瀬泉之（総合基本計画担当課長）　森田晃（企画調整担当係長）　萩原賢太郎（企画調整担当係長）

【策定支援事業者】

三浦洋平（(株) 地域総合計画研究所）

【傍聴者】

１名

＜配付資料＞

―机上配付―

・日程
・資料１－１　基本構想素案（大綱１抜粋）
・資料１－２　第５章　施策の体系（たたき台）
・資料２　　施策体系及びSDGｓのゴール
・資料３－１　次期総合基本計画策定に向けた市民説明会（パワポ資料）
・資料３－２　（A4横）次期総合基本計画策定に向けた市民説明会（配付資料）

＜議事要旨＞

１　開会

２　会長挨拶

会長：

ただいまから、第 12 回総合基本計画審議会を開会いたします。それでは、議題に移る前に、本日、（日惠野委員、信行委員、荒井委員、大田委員、杉田委員、松本委員、河村委員、和田委員）から欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

次に、前回３月に行われました第 11 回審議会の議事要旨については、事務局から事前に配付されております。このことについて事務局よりお願いします。

事務局：

委員より事前にご意見をいただきました。議事要旨に会議の開始時刻に加えて、終了時刻も記載したほうがいいのではないかとのご意見でした。事務局といたしましては、今回より記載したいと思っております。なお、第 11 回の終了時刻は 20 時となっております。

会長：

今、事務局より、終了時刻を記載したい旨、説明がありました。特にご指摘の点などないようですので、第 11 回審議会の議事要旨は、「終了時刻 20 時」を追記したうえで、審議会において確認されたものとします。

３　議題

（１）委員の交代について

【　事務局より委員の交代について説明　】

【　安倍委員より自己紹介　】

（２）基本計画（第５章）の策定に向けて

【　事務局より基本計画（第５章）の策定に向けてについて説明　】

【　質疑　】

水野委員：

SDGs のアイコンはわかりやすくよいと思う。SDGs の内容を一覧で掲載する考えはあるか。もう一点、「現状と課題」は５つの段落で構成されているが、それぞれ小項目を立てて、「現状は…」、「課題は…」というように整理すれば一目見てわかりやすいのではないかと思うがいかがか。

事務局：

SDGs の一覧は、前回の１・２章の中に説明とともに記載させていただいた。また、現状と課題については、ものによっては現状と課題がきれいに対応しないものもある。小項目を立てた方が良いか、今後書き進める中で、全体のバランスを見ながら検討したい。

安倍委員：

「実施計画とは何か」ということは、前の章で説明があるのか。

事務局：

特に説明はつけていないが、主な取組の下に記載されるため、わかっていただけると思う。

基本計画の中に実施計画が内包されることについては基本構想の部分で説明している。

赤田委員：

SDGs については丁寧な説明が書かれているので、この部分のページを切り離して持ち歩けるとよいのではないか。

事務局：

そのページのみを抜き出すのは冊子として難しいが、必要な資料を個別で用意するなど検討させていただく。

中島委員：

資料２について。想定される主な事業はどのように選定されているのか。

事務局：

現在市で行っている事務事業の一覧を掲載している。

中島委員：

資料の中では、内部検証を行っているのだから、これまでできていないところ、空欄になっているところなどを精査し取り上げるなど、対応を考えていただけるとよいのではないか。

事務局：

ご指摘いただいたとおり、内部検証を重要な資料として踏まえて基本計画の作成を行っていく。

会長：

資料２の内容は、計画書全体の中でどのあたりに入るものなのか。

事務局：

資料２の内容が直接基本計画に入るわけではない。本日の説明資料とお考えいただきたい。

白川委員：

同じくどこかに入るのかということが気になった。よい資料なので、計画書に入らないのはもったいない気もする。

実施計画は金額まで記載するとのことだが、そこまで具体的に示してしまってよいものか。

事務局：

より具体的に、そして実効性を持たせるため、実施計画を包含することとした。また、５年

間の財政見通しをしっかり立て、まちづくりを進めることが重要であり、市民の皆さまにわかりやすく、安心していただけるものをということでこのような形としている。きちんと計画を立てた上で掲載していく。金額を示すことに問題はないと考えるが、計画期間中に大規模災害の発生や法律改正などがあった場合など、修正が必要になった際には随時に見直しを行っていく。

中島委員：

見直しがあるのであれば、そのことは書いておくべき。

白川委員：

今のご時勢何が起きるかわからない。中島委員がおっしゃったように、その旨書いておけるとよいと思う。

事務局：

実施計画の見せ方等については、どのようにしたらわかりやすいか持ち帰り検討するが、基本的な考え方については、ご説明したとおりである。

山下委員：

市民にとっては、これまで取り組んできたことも掲載されるのがわかりやすいのか、今後力を入れていくことが記載されるのがわかりやすいのか。個人的には後者と考える。となると、例示で示された事業には気になるものがある。実施計画の掲載事業については今一度考えていただきたい。

事務局：

事務局としても想定しているところである。今後５年間を示すなかで、力を入れていくところ、計画をより具現化するための事業を選定していきたい。これまでの実施計画と比べ、総合基本計画の大綱にふさわしいものとしていきたい。

浅見委員：

政策指標とあるが、市民目線でこれを見ると全体像がわかりやすい指標が掲載されるのか。

事務局：

そのため、定性的な表現を考えている。全体像が見えるような形を工夫していきたい。

会長：

政策指標は複数立てることもあるのか。

事務局：

現時点でそこまでは決めていないが、複数になることも想定される。

会長：

定性的という話はあったが、定量的な記載もあるので、資料のような書きぶりはよいのではと感じた。

全編に渡り見開き２ページで完結とすると、ページ数としては現計画よりコンパクトになるイメージか。

事務局：

当初そのように考えていたが、同程度のボリュームになる可能性がある。

（３）今後の審議会の運営方法について

【　事務局より今後の審議会の運営方法について説明　】

事務局：

当初はグループを分けての審議を考えていたが、ここまでの新型コロナの影響を受けての会議の開催状況を考えると難しいと判断している。その点はご理解いただきたい。

（４）市民説明会について

【　事務局より市民説明会について説明　】

事務局：

4 月 18 日の会場は、新型コロナの影響によりアキシマエンシスからあいぽっく（保健福祉センター）へと変更になった。現時点で 4 月 16 日は６名、4 月 18 日は８名の申し込みをいただいている。市と審議会の合同の開催なので、委員の出席をお願いしたい。

【　質疑　】

中島委員：

参加者が少ないと感じている。説明会の構成はどのように考えているか。

事務局：

参加者数は、広報による一般公募で、今の時勢によるところがある。ただ、まだ締め切りまで日にちがあるのでもう少し増えると思う。

当日はパワーポイントを用いて基本構想の概要を説明し、その後、ご意見をいただく。時間は１時間程度を考えている。

会長：

出席させていただく。また、中島委員と、18 日は山下委員も出席する。

（５）その他

【　質疑　】

副会長：

施策体系、SDGs の表はよくできているが、主な事業の欄の「親」は、「保護者」もしくは「親（保護者)」とするなど、書き方を検討いただきたい。

４　その他

（１）次回の開催予定

事務局：

次回の審議会の日程についてお知らせする。次回、第 13 回審議会は、令和３年５月 21 日（金）19：00～昭島市役所市民ホールにて開催する。

５　閉会